

# 特集

## 松波総合病院が 地域がん診療連携拠点病院に 指定されました

がんは、早期発見・早期治療をすることができれば、長期生存が期待できる病気です。また、治療が早期であるほど、体への負担や日常生活への影響も軽くなります。そのため、自覚症状がなくても、がんの早期発見、早期治療のため、がん検診を定期的に受け、その後の精密検査も必ず受けましょう。

### ▶▶がん診療連携拠点病院とは？



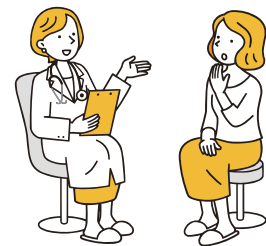
がん診療連携拠点病院とは、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、都道府県の推薦を受け国が指定した病院です。

がん診療連携拠点病院には「都道府県がん診療連携拠点病院」と「地域がん診療連携拠点病院」があり、岐阜県では「都道府県がん診療連携拠点病院」を岐阜大学医学部附属病院が県内におけるがん医療の中心的な役割を担い、二次医療圏ごとに整備する「地域がん診療連携拠点病院」は、岐阜医療圏内では、令和6年4月1日に松波総合病院が指定を受け、その他県内に7医療機関が指定を受けています。

### ▶▶地域がん診療連携拠点病院の主な特徴は？



- 専門的な知識や技能を持った医師、医療従事者が在籍している
- 院内に緩和ケアチームがあり、緩和ケアを提供している
- がん相談支援センターを設置している



### ▶▶がん診療連携拠点病院を受診するには

がん診療連携拠点病院を受診するためには、原則として地域の医療機関からの紹介が必要です。受診を希望する場合には、かかりつけ医に相談し、必要に応じてがん診療連携拠点病院の紹介を受けてください。かかりつけ医がいなければ、がん診療連携拠点病院に設置されているがん相談支援センターでも相談に応じてくれます。

がんがより早い段階で発見され、治療が早く開始できるよう、必ず「がん検診」を受けるよう心がけることは変わりませんが、町内の松波総合病院が「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、身近なところで専門的な相談や治療を受けることができより充実した医療体制となりました。

岐阜県の  
がん診療  
連携拠点病院  
(岐阜県HP)



都道府県がん診療連携拠点病院 (岐阜大学医学部附属病院)

⇕ 連携・支援

地域がん診療連携拠点病院 (松波総合病院ほか県内7医療機関)

⇕ 連携・支援

その他病院・診療所



# 暑くなる前から!! 熱中症の予防対策を!!

気象庁によると今年の夏も厳しい暑さとなる見込みです。気温上昇は、健康面のリスクが高まります。暑くなる前から熱中症を正しく知って、猛暑の夏に備えましょう。

## いまさら聞けない!? 熱中症とは

「熱中症」とは、高温多湿な環境に長時間いることで、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、めまいや吐き気・おう吐など体に様々な不調をもたらす障害の総称で、時には死亡することもあります。

## 今なぜ熱中症の対策が必要か?

熱中症は屋外だけではなく、室内で静かに過ごしても発症するため、本格的な夏を迎える前に正しい知識を身につけることが熱中症予防の第一歩です。

特にこの梅雨の時期は、湿度が高いため汗が蒸発しにくくなり、体に熱がこもり、熱中症を発症しやすくなります。気温が同じでも、湿度の高い日は注意が必要となります。

## 今から取り組むべき熱中症対策!

### ① エアコン・扇風機を上手に使用

夏本番を迎える前に試運転を



### ② 部屋の温度を測る

体感だけでなく室温もチェック



### ③ 部屋の風通しを良くする

扇風機も併せて活用を



### ④ こまめに水分・塩分補給

入浴前後や起床後など喉が渇いていなくても飲む習慣を  
外出時はマイボトルを持ち歩き水分補給を



### ⑤ シャワーやタオルで体を冷やす

### ⑥ 暑い時は無理をしない



### ⑦ 日光を遮断し涼しい服装を



### ⑧ 涼しい場所、施設を利用



### ⑨ 緊急時や困った時の連絡先を確認



### ⑩ 十分な睡眠とバランスの良い食事を心がける



## 予防に役立つ熱中症警戒アラート!

熱中症警戒アラートとは、熱中症の危険度をわかりやすくしたもので、岐阜県内のいずれかの観測地点で暑さ指数33以上と予測した場合に発表される情報で、県内では昨年9回発表されました。

これに加え今年から熱中症特別警戒アラートの運用が始まりました。これは過去に例の無い危険な暑さとして多治見市や白川村なども含めた県内23箇所すべての観測地点で暑さ指数が35以上と予測される場合に、前日の午後2時頃に環境省から発表されるものです。これらのアラートが発表された場合は、特に不要不急の外出を避け涼しい室内に移動して水分補給も忘れずに行ってください。もちろんアラートが出ていなければ安全というわけではありません。激しい運動や重労働時にはリスクはあるため、定期的な休息をとるなど十分注意してください。

※「熱中症特別警戒アラート」については、次号に詳しく掲載します。

健康介護課 ☎388-7171